

NIPPO

環境に配慮した低炭素型半たわみ性舗装「ポリシールLC」 「戻りコン」をリサイクルし普通セメントの使用量削減

半たわみ性舗装は、開粒度アスファルト混合物の隙間に特殊なセメントミルクを浸透させるもので、アスファルト舗装のたわみ性とコンクリート舗装の剛性を併せ持っており、大型車両が停車するターミナル、倉庫やコンテナヤード、構内道路やバスレーンなどに採用されています。

「ポリシールLC (Low Carbon)」は、低炭素型のプレミックス材「ポリパックLC」を使用した環境配

慮型の半たわみ性舗装です。コストや施工方法は従来の半たわみ性舗装と変わらず、所定の品質を確保しながら二酸化炭素(CO₂)排出量を削減できます。また、「ポリパックLC」は普通セメントの使用量を減らし、工事現場で使用されずに工場に戻るレディーミクストコンクリート「戻りコン」をリサイクルすることで、製造時のCO₂排出量が従来製品の8分の1程度になった低炭素セメントを使用しています。プレミックス材の普通セメントの一部を低炭素型に置き換えることで排出量を削減し、環境に配慮しています。

ポリシールLCの種類は養生時間に応じて普通タイプ(養生時間3日)、早強タイプ(同1日)、超速硬タイプ(同2~4時間)があり、セメントミルク製造時のCO₂排出量の削減率は、当社従来品と比較し普通タイプで21%、早強タイプで18%、超速硬タイプで53%となっています。

普通タイプを厚さ5cmで舗装した場合のCO₂削減量は、当社従来比で1㎡あたり2.3kg-CO₂(15%)程度となります。面積100㎡あたりの削減量は、杉の木の165本分のCO₂吸収量に相当しています。

2021年度までの施工実績は計30件で、7万㎡超となっています。

「ポリシールLC」および「ポリパックLC」とも、環境省の「環境ラベル等データベース」に掲載しており、環境に配慮した製品の使用やCO₂削減に取り組んでいる公共機関・民間企業に積極的に提案していきます。



施工状況

「未知」に挑み、「道」を繋ぐ。

全国の200社を超えるNIPPOネットワークは、

日々変化する社会環境に応じ、

お客様のニーズにタイムリーに対応すべく進化していきます。

すべては「豊かな社会の実現」のために。



株式会社 NIPPO

本社 東京都中央区京橋1丁目19番11号

TEL (03) 3563-6711 <https://www.nippo-c.co.jp/>